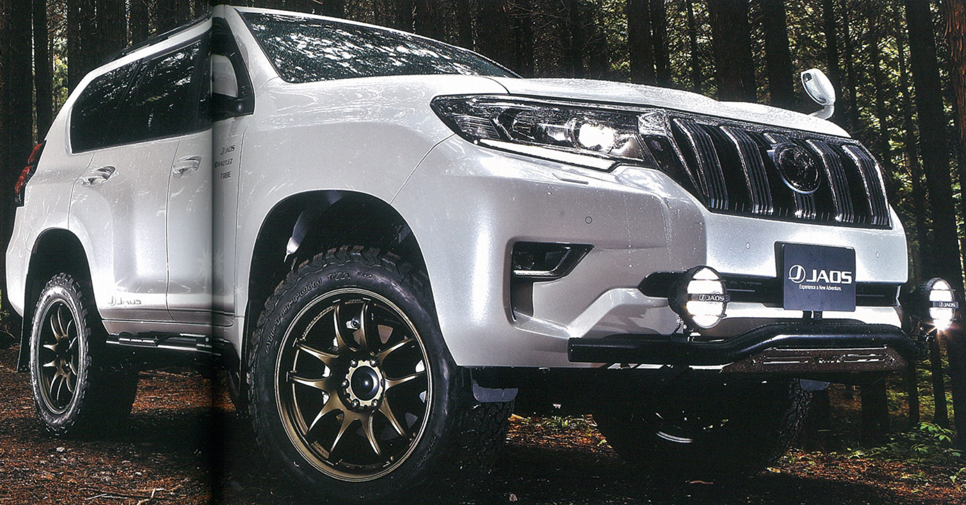
ワーク エモーション・シーアール エスユーブイ

CR SUV WORK EMOTION



今回のマッチング撮影車両となったのは、日本を代表する4WDのポジションを築いているランドクルーザープラド（150系）のJAOSリフトアップ仕様デモカー。プラドに対してはボディキットも手掛けるが、リフトアップスタイルも積極的に推奨。2.7ℓガソリン、2.8ℓディーゼルのそれぞれのエンジンにリフトアップサスを設定し、約2インチアップしたスタイルを構築。また、JAOSプラドが装着する外装パーツのアンダーガードやフロントスキッドバー、さらにボディへの汚れなどを防ぐマッドガードは単なる飾りにあらず。オフロード走行時のプロテクションの役目も果たす。20インチのWORK EMOTION CR SUVとのマッチングも、骨太なプラドながら、スポーティな印象を高めている。

●装着カラー：アッシュドチタン　●マッチングサイズ：20×9.0Jインセット+20/6H-139.7
●マッチングタイヤ：BFGoodrich オールテレーン T/A KO2（LT275/55R20）

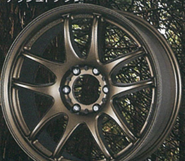
WORK EMOTION CR SUV

Size	Inset	Hole	P.C.D	Color	Price（税別）
20×9.0J	20 ／ ±0	6	139.7	AHG（アッシュドチタン）	¥62,000
				MGM（マットカーボン）	
				BLKRC（ブラックダイヤカットリム）	¥65,000

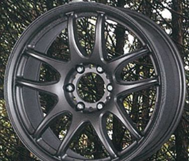
●カラー：アッシュドチタン（AHG）、マットカーボン（MGM）、ブラックダイヤカットリム（BLKRC）
●仕様：鋳造1ピース（JWL-P800kg/JWL-T955kg規格適合）
●付属品：エアバルブ、●オプショナルアイテム：センターキャップ

Special Thanks（撮影車両）●ジャオス（https://www.jaos.co.jp）

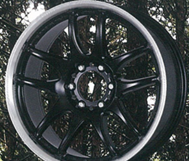
※車両や装着パーツの詳細はJAOS公式サイトをご確認ください。



アッシュドチタン



マットカーボン



ブラックダイヤカットリム

ホイールのカラーは全3色。スポーティホイールのイメージを強めるアッシュドチタンやマットカーボンリム、そして、ブラックとシルバーの2トーンが美しい、ブラック ダイヤカットリムをラインアップ

ワーク エモーションの血統を SUVで受け継ぎ、未だ見ぬ世界へ

WORK EMOTIONに求められる軽量さや高剛性といったあらゆる性能を、大型SUVにも耐えうる緻密な設計によってデザイン。各部のシェイプ化や極限までの肉抜き、コンケイブによるセンターの落とし込み量などにより、20インチにして1本約13kgという軽さを実現。スポーティなホイールにふさわしい機能美を高めている。

大口径ホイールの外周を明確に見せ、コンケイブラインからフランジまでを美しくカーブを描くツインファイブスポーク。奥行き感とコンケイブの両立を図るべく計算されたリム深度もコダワリのポイント。ブラックのみダイヤカットリムを採用する。

クロームメッキで覆われたボディにグロスブラックベースのオーナメントに、凹白文字で「WORK」ロゴが入るセンターキャップをオプション設定。シャープなデザインがCR SUVに彩りを与える。※センターキャップ装着画像はインセット+20

初の大型SUV専用のエモーションがデビュー

これまでに無数の質実剛健なホイールを生み出し、4WD・SUV専用ホイールとしては「CRAGT・GRABIC（クラッグ・ティーグラビック）」がユーザーから支持されているメーカー「WORK（ワーク）」。そんなWORKホイールを象徴し、今なおその血統が脈々と受け継がれている生きる伝説が存在する。それが「WORK EMOTION（ワークエモーション）」。

その成りたちは、レース用鍛造マグネシウム1ピースホイールとして専用設計され、1999年全日本GT選手権シリーズに参戦する「チーム・テイボン・ラリーアート」に装着された開発ナンバー「ES・990111」に始まった。そして、現在まで大きく姿を変えず…ただしデザイン・重量・剛性のすべてを進化してきたツイン5スポークをベースに〝スポーツ〟を具現化したホイールだ。

そんなホイールに、満を持して大型4WD・SUVをターゲットにしたモデルが登場！ その名も「WORK EMOTION CR SUV」。耐久性も求められる4WD・SUVホイールに最適化させるため、解析による各部シェイプ化、限界まで各部の駄肉をそぎ落とした軽量化、高剛性なスポーク断面など、限界まで練り上げられた設計を採用。そのカタチには本物のオーラが漂っているようだ。

PHOTO●浅井岳男　TEXT●編集部